



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月31日

上場会社名 川崎近海汽船株式会社

上場取引所 東

コード番号 9179 URL <http://www.kawakin.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石井繁礼

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経理部長 (氏名) 高田雅彦

TEL 03-3592-5829

四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	34,318	6.9	1,695	7.5	1,674	13.4	1,081	11.7
25年3月期第3四半期	32,111	1.8	1,577	11.0	1,477	14.6	967	24.4

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 1,467百万円 (52.7%) 25年3月期第3四半期 960百万円 (32.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	36.84	—
25年3月期第3四半期	32.97	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	45,011	22,972	51.0
25年3月期	44,995	21,769	48.4

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 22,972百万円 25年3月期 21,769百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
25年3月期	—	4.00	—	4.00	8.00
26年3月期	—	5.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	4.00	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	45,100	6.2	1,850	5.0	1,800	9.3	1,150	7.3	39.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は添付資料P.3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	29,525,000 株	25年3月期	29,525,000 株
26年3月期3Q	165,764 株	25年3月期	165,764 株
26年3月期3Q	29,359,236 株	25年3月期3Q	29,259,424 株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年12月31日まで)におけるわが国経済は、政府による経済政策や、平成26年4月の消費税率引き上げに向けた駆け込み需要などにより、景気は緩やかな回復傾向となりました。

海運業界を取り巻く環境は、米国を始め一部に持ち直しが見られるなど、世界経済全体としては緩やかな回復基調が続いたものの、一方で燃料油価格の高止まりや近海船の市況低迷が継続し、厳しい経営環境となりました。

このような状況下、当社の第3四半期連結累計期間の売上高は343億18百万円となり前年同期に比べて6.9%の増収となりました。営業利益は16億95百万円となり前年同期に比べて7.5%の増益、経常利益は16億74百万円となり13.4%の増益となりました。特別利益を1億95百万円、特別損失を1億20百万円計上した結果、四半期純利益は10億81百万円となり前年同期比11.7%の増益となりました。

事業のセグメント別業績概況は次の通りです。

「近海部門」

バルク輸送では、国内セメントメーカーの堅調な生産活動を背景に、石炭、石膏、セメントなどで安定した輸送量を確保しました。木材輸送では、国産材合板の伸張と、国内在庫の積み増しから、輸入合板の輸送量は前年同期をやや下回り、チップ輸送では市況の低迷が続きました。鋼材・雑貨輸送では、航路改編により海峡地向けの輸送量は減少しましたが、インドネシアおよびタイ向けは配船数が増加し輸送量は前年同期を上回りました。

同部門の売上高は121億71百万円となり前年同期に比べて7.0%の増収となりましたが、近海船の市況低迷により営業損失は前年同期7億40百万円に対し、8億92百万円となりました。

「内航部門」

不定期船輸送では、石灰石専用船および石炭専用船は安定的に稼働し、小型貨物船も景気回復基調に伴い、荷動きも活発化したことから高稼働となりました。定期船輸送では、円安基調による国内製品の競争力回復、消費税増税前の駆け込み需要などで堅調な荷動きとなり、台風や低気圧の一時的な影響も受けましたが、全般的には安定した天候に恵まれ積極的な営業活動を行った結果、輸送量は前年同期比で増加しました。フェリー輸送では、宅配貨物の堅調な荷動きや建設関連貨物の荷動き増加により、トラック貨物が前年同期比で微増し、乗用車、旅客も新造船を投入した効果から前年同期比で増加しました。

同部門の売上高は221億11百万円となり前年同期に比べて7.0%の増収となりました。また、営業利益は25億73百万円となり、12.1%の増益となりました。

「その他事業部門」

当事業の主なものとしては、北海道地区における不動産賃貸事業などではありますが、上期に同不動産物件を売却いたしました。この結果、同部門の売上高は35百万円となり前年同期に比べ36.3%の減収となりました。また、営業利益は13百万円となり35.0%の減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ15百万円増加し450億11百万円となりました。流動資産は短期貸付金の増加などにより31億81百万円増加し140億45百万円となりました。固定資産は船舶の減価償却や売却などにより31億65百万円減少し309億66百万円となりました。

負債は前連結会計年度末に比べ11億87百万円減少し220億38百万円となりました。流動負債は営業未払金や未払法人税等の増加などにより8億14百万円増加し85億8百万円となり、固定負債は長期借入金の返済などにより20億1百万円減少し135億30百万円となりました。

純資産は土地再評価差額金の増加などにより、前連結会計年度末に比べ12億3百万円増加し229億72百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期通期の連結業績予想につきましては、平成25年10月31日の発表から変更ありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更)

第1四半期連結会計期間より一部の船舶の耐用年数について、長期貨物運送契約の契約期間が延長されたことを契機に、経済的使用可能予測期間(変更後の契約期間)に変更しております。

この変更により、従来の耐用年数によった場合に比べ、当第3四半期連結累計期間の売上原価における減価償却費が90百万円減少し、売上総利益、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益が同額増加しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	768,978	1,046,597
受取手形及び営業未収入金	5,255,768	5,397,022
原材料及び貯蔵品	971,233	910,467
繰延税金資産	63,398	83,331
短期貸付金	2,286,000	5,334,000
未収還付法人税等	102,809	25
その他	1,420,782	1,280,137
貸倒引当金	△5,700	△6,350
流動資産合計	10,863,270	14,045,231
固定資産		
有形固定資産		
船舶(純額)	30,655,596	26,991,766
建物及び構築物(純額)	449,722	220,691
土地	1,051,895	931,227
建設仮勘定	433,430	691,563
その他(純額)	55,724	66,835
有形固定資産合計	32,646,368	28,902,084
無形固定資産	106,162	100,985
投資その他の資産		
投資有価証券	656,218	854,626
長期貸付金	150,624	404,414
繰延税金資産	63,151	78,315
敷金及び保証金	187,627	247,272
その他	343,389	399,763
貸倒引当金	△20,964	△20,885
投資その他の資産合計	1,380,047	1,963,508
固定資産合計	34,132,577	30,966,579
資産合計	44,995,848	45,011,811

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	3,262,546	3,747,010
短期借入金	2,975,415	2,735,771
未払法人税等	16,706	564,556
賞与引当金	173,295	115,388
役員賞与引当金	42,000	31,500
災害損失引当金	1,523	1,523
その他	1,222,905	1,313,073
流動負債合計	7,694,392	8,508,823
固定負債		
長期借入金	13,611,650	11,704,020
繰延税金負債	1,084,367	950,946
再評価に係る繰延税金負債	77,645	74,764
退職給付引当金	133,612	156,144
役員退職慰労引当金	388,288	281,163
特別修繕引当金	236,067	363,073
固定負債合計	15,531,631	13,530,112
負債合計	23,226,024	22,038,935
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,368,650	2,368,650
資本剰余金	1,248,849	1,248,849
利益剰余金	18,636,341	18,997,145
自己株式	△27,505	△27,505
株主資本合計	22,226,334	22,587,139
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	133,568	241,624
土地再評価差額金	△588,700	139,943
為替換算調整勘定	△1,669	4,168
その他の包括利益累計額合計	△456,802	385,736
少数株主持分	291	—
純資産合計	21,769,823	22,972,875
負債純資産合計	44,995,848	45,011,811

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	32,111,038	34,318,031
売上原価	27,842,906	29,931,464
売上総利益	4,268,132	4,386,566
販売費及び一般管理費	2,691,102	2,691,357
営業利益	1,577,029	1,695,209
営業外収益		
受取利息	10,304	14,038
受取配当金	14,938	35,747
為替差益	1,053	32,157
その他	18,123	35,201
営業外収益合計	44,421	117,144
営業外費用		
支払利息	126,571	128,027
その他	17,718	9,931
営業外費用合計	144,290	137,958
経常利益	1,477,160	1,674,395
特別利益		
固定資産売却益	603,518	195,312
特別利益合計	603,518	195,312
特別損失		
減損損失	474,530	33,754
投資有価証券評価損	33,843	—
本社移転関連費用	—	86,430
特別損失合計	508,373	120,184
税金等調整前四半期純利益	1,572,305	1,749,522
法人税、住民税及び事業税	873,578	565,194
法人税等調整額	△269,356	103,076
法人税等合計	604,221	668,271
少数株主損益調整前四半期純利益	968,083	1,081,251
少数株主利益又は少数株主損失(△)	165	△291
四半期純利益	967,918	1,081,542

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	968,083	1,081,251
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△11,441	108,055
繰延ヘッジ損益	1,316	—
土地再評価差額金	—	272,139
為替換算調整勘定	2,997	5,838
その他の包括利益合計	△7,126	386,033
四半期包括利益	960,956	1,467,284
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	960,791	1,467,576
少数株主に係る四半期包括利益	165	△291

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他	合計
	近海部門	内航部門	その他事業部門	計		
売上高						
外部顧客への売上高	11,379,723	20,674,925	56,389	32,111,038	—	32,111,038
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	11,379,723	20,674,925	56,389	32,111,038	—	32,111,038
セグメント利益又は損失(△)	△740,735	2,297,096	20,668	1,577,029	—	1,577,029

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,577,029
「その他」の区分の利益	—
四半期連結損益計算書の営業利益	1,577,029

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他	全社・消去	合計
	近海部門	内航部門 (注)	その他事業部門	計			
減損損失	—	474,530	—	474,530	—	—	474,530

(注) 売却予定資産に係るものであります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他	合計
	近海部門	内航部門	その他事業部門	計		
売上高						
外部顧客への売上高	12,171,101	22,111,009	35,921	34,318,031	—	34,318,031
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	12,171,101	22,111,009	35,921	34,318,031	—	34,318,031
セグメント利益又は損失(△)	△892,174	2,573,948	13,435	1,695,209	—	1,695,209

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,695,209
「その他」の区分の利益	—
四半期連結損益計算書の営業利益	1,695,209

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より一部の船舶の耐用年数について、長期貨物運送契約の契約期間が延長されたことを契機に、経済的使用可能予測期間(変更後の契約期間)に変更しております。

当該変更により、従来の耐用年数によった場合に比べて、当第3四半期連結累計期間の「内航部門」のセグメント利益が90,097千円増加しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他	全社・消去	合計
	近海部門	内航部門	その他事業部門 (注)	計			
減損損失	—	—	33,754	33,754	—	—	33,754

(注) 売却資産に係るものであります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。